大　会　役　員

大　会　会　長　　西　村　覚　（島根大学硬式庭球部）

大　会　顧　問　　高　尾　義　信　（愛媛県テニス協会常任理事）

大会委員長　　川　原　航　太

大会副委員長　　湯　浅　康　平

大会競技委員長　　突　永　鼓　南

大　会　委　員　　谷　口　大　　古　池　結　芽　　石　原　勇　歩　　原　寛　弥
アフザール・ミナヘル　　下　田　一　輝　　西　本　紗　菜

前半　レフェリー　突　永　鼓　南　　荘山　翔　太　　横　山　実　森
ディレクター　城　戸　香　澄

後半　レフェリー　湯　浅　康　平　　宮　地　遥　平　　源　田　健
ディレクター　宮　崎　貴　司

～ 前　　半 ～

＜日　　程＞

10 月 22 日(土)～ 10 月 23 日(日)　予備日 10 月 29 日(土)10 月 30 日(日)	
リ　　ー　　グ　　戦(4 部)	

＜コート割＞

会　場　＜オムニコート＞

広島経済大学、広島大学など

＜日　　程＞

8 月 29 日（月）～ 8 月 31 日（水）　予備日 9 月 1 日(木)9 月 2 日(金)	
リ　　ー　　グ　　戦(1 部)	

＜コート割＞

会　場　＜ハードコート＞　愛媛県総合運動公園テニスコート

＜オムニコート＞　広島大学他

※　試合開始時刻は 10 時とする。

※　オーダー交換は試合開始時刻 20 分前とする。

※　リーグ戦は 3 日間の予定です。

～ 後　　半 ～

＜日　　程＞

10 月 8 日（土）～ 10 月 10 日（月）　予備日 10 月 15 日(土)
リ　　ー　　グ　　戦（2 部、3 部）

＜コート割＞

会　場　＜オムニコート＞

広島経済大学、広島大学など

～入　替　戦～

1・2・3 部入れ替え戦

＜日程＞

10 月 26 日（土）予備日　未定

＜コート割＞

会場　広島大学、広島経済大学など

3 部 3 位・4 位と 4 部入れ替え戦

＜日程＞

11 月 2 日（土）～11 月 4 日（月）予備日　未定

＜コート割＞

会場　広島大学、広島経済大学など

中国四国学生テニス史王座戦

（男子）

昭和	30 年	松山商大
	31 年	松山商大
	32 年	松山商大
	33 年	山口大学
	34 年	岡山大学
	35 年	松山商大
	36 年	山口大学
	37 年	山口大学
	38 年	松山商大
	39 年	広島商大
	40 年	広島商大
	41 年	広島商大
	42 年	広島商大
	43 年	広島商大
	44 年	山口大学
	45 年	山口大学
	46 年	広島大学
	47 年	岡山大学
	48 年	山口大学
	49 年	徳島大学
	50 年	広島大学
	51 年	広島大学
	52 年	広島大学
	53 年	広島大学
	54 年	広島大学
	55 年	広島大学
	56 年	広島大学
	57 年	広島大学
	58 年	広島大学
	59 年	広島大学
	60 年	広島修道大学
	61 年	松山商科大学
	62 年	松山商科大学

（女子）

51 年	広島大学
52 年	広島大学
53 年	広島大学
54 年	広島大学
55 年	広島大学
56 年	広島大学
57 年	広島大学
58 年	広島大学
59 年	安田女子大学
60 年	安田女子大学
61 年	岡山大学
62 年	安田女子大学

	63 年	松山商科大学		63 年	愛媛大学
平成	元 年	松山商科大学	平成	元 年	愛媛大学
	2 年	松山大学		2 年	愛媛大学
	3 年	松山大学		3 年	広島大学
	4 年	松山大学		4 年	広島大学
	5 年	広島大学		5 年	愛媛大学
	6 年	松山大学		6 年	松山大学
	7 年	松山大学		7 年	松山大学
	8 年	松山大学		8 年	松山大学
	9 年	松山大学		9 年	広島経済大学
	10 年	松山大学		10 年	広島経済大学
	11 年	広島経済大学		11 年	松山大学
	12 年	松山大学		12 年	広島経済大学
	13 年	広島経済大学		13 年	松山大学
	14 年	松山大学		14 年	広島大学
	15 年	松山大学		15 年	島根大学
	16 年	松山大学		16 年	島根大学
	17 年	松山大学		17 年	島根大学
	18 年	松山大学		18 年	香川大学
	19 年	松山大学		19 年	島根大学
	20 年	松山大学		20 年	松山大学
	21 年	松山大学		21 年	松山大学
	22 年	松山大学		22 年	岡山大学
	23 年	松山大学		23 年	岡山大学
	24 年	松山大学		24 年	岡山大学
	25 年	松山大学		25 年	松山大学
	26 年	松山大学		26 年	松山大学
	27 年	松山大学		27 年	広島大学
	28 年	松山大学		28 年	岡山大学
	29 年	松山大学		29 年	岡山大学
	30 年	松山大学		30 年	松山大学
	31 年	松山大学		31 年	愛媛大学

令和４年度　全日本大学対抗テニス王座決定試合　中国四国地区大会
注意事項

１、出　場　資　格

⑴中国四国学生テニス連盟に加盟する 4 年制大学において最大 4 回出場できる。 但し、医学部系においては最大６回、短期大学は最大２回とする。また、他大学からの編入の場合は合計４回とする。但し、留学・休学等によって在籍年数が１年もしくはそれ以上延長される場合は学連にその旨を証明できる書類を提出することによって、登録期間の延長を認める場合がある。

⑵留学生の扱いについて

学生テニス連盟に個人登録を希望する留学生は、各地区所定の履歴書を記入し、核当する地区の学生テニス連盟に提出すること。海外での選手活動によっては、国内の編入と同等の扱いになり、制限を加えられることがある。

補足：海外の活動を偽り、悪質と判断した場合は、核当大学に対して厳正な処分を下す。

⑶プロフェッショナル選手の学生大会出場について

プロフェッショナル登録選手について：

プロフェッショナル登録を行っている選手は大学在籍に関わらず全日本学生テニス連盟並びに各地区学生テニス連盟が主催する大会に出場することはできない。

プロフェッショナル登録からアマチュア選手に登録変更を行った場合：

プロフェッショナル登録からアマチュア選手に登録変更を行った場合、アマチュア変更後から１年間、全日本学生テニス連盟並びに各地区学生テニス連盟が主催する大会に出場することが出来ない。

補足：アマチュア登録後１年間であり、大学に在籍してから１年間ではない。

２、組　合　わ　せ

・組み合わせは男子、女子ともに前年度順位に基づき以下の通りとする。

第１日　１位－４位　２位－３位
第２日　１位－３位　２位－４位
第３日　１位－２位　３位－４位

※また、男女共最下部は、トーナメントを原則としてとり行う。

３、順　位　決　定

・リーグ戦による団体戦で勝ちポイント数により勝敗を決定する。

但し、最下部校はトーナメントによって勝敗を決する。

総当たりリーグ戦における順位決定方法は『JTA ルールブック 2021』を参照のこと。

４、入　替　戦

・各部４位校は、次の部の１位校と入替戦を行う。但し、男女共最下部校の入替戦は上位２大学が行うものとする。

５、試　合　形　式

・男子　３セットマッチ各セット６－６後 ITF ７ポイントタイブレーク方式
　　ダブルス：３ポイント　シングルス：６ポイント

・女子　３セットマッチ各セット６－６後 ITF ７ポイントタイブレーク方式
　　ダブルス：２ポイント　シングルス：３ポイント

６、出　場　順　位

・中国四国学生テニス連盟規約（以下 連盟規約）を参照のこと。
※選手が必要本数に満たない場合は第１位より順に入れるものとする。

７、試　合　順　序

・男子　　ダブルス　　第３位から順次第１位まで
　　シングルス　第６位から順次第１位まで

・女子　　ダブルス　　第２位から順次第１位まで
　　シングルス　第３位から順次第１位まで

・原則として以上の通りであるが、天候や試合状況等により大会委員会の判断で勝敗決定後打ち切ることがある。基本的に男子は３面進行、女子は２面進行で行うが、進行上の都合、それ以上になる場合もある。

※シングルス No6、No5 のレストの状況によってはNo3、No2 を先に入れるものとする。
シングルス No1 についても同様とし、敢えて残すことはない。

８、試　合　開　始　時　刻

・試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前 10 時から行うものとし、引き続きシングルスを行うものとする。

９、オ　ー　ダ　―

・選手出場順位は、連盟規約（年度要項参照）に従うものとし、大会委員会と相手校提出用の２通を用意すること。

・オーダー用紙は学連指定のものを原則とし、毛筆またはペン書によるものとする。
用紙には必ず対戦校、日付、オーダーを列記すること。
訂正は二重線と印を押すことにより認める。
正式名称は、学連にエントリーされているものとする。
尚、オーダー交換後のオーダー変更、訂正は一切認めない。
但し、誤字は両校の良識に任せるものとする。

１０、オ ー ダ ー 交 換

・オーダー交換は各種目試合開始前に指定されるコートに出場選手が整列し、試合開始の２０分前に行うこと。整列していない選手が試合に出場する場合は該当選手の試合のみを没収試合とする。また閉会宣言時には各種目出場選手が整列する。このとき何らかの理由で整列できない場合には、事前に担当学連と相手校に申し出ること。尚、シングルスのオーダー交換は、ダブルスの試合終了後即座に行う（オーダーを書き換える等の時間は認める)。 また、整列時はウェアを着用しておく。

ウォームアップを着用する場合も中にウェアを着用していなければならない。

１１、没 収 試 合

(1)学生スポーツ精神に反すると大会委員もしくはレフェリーが認めた当該試合。

(2)オーダー交換時に、出場選手が整列していない場合のその当該試合。

(3)試合開始の際、出場選手が試合に入らない場合のその当該試合。

(4)連盟規約に反した場合はその当該試合。(レフェリー、コートレフェリー、審判が確認したもののみ)

(5)インプレー中に痙攣などでプレーが中断している場合、その選手にダブルスパートナー以外が触れたらその試合は没収となる。

(6)オーダー交換時、相手校提出用と学連提出用を間違えて提出した場合。

(7)オーダー用紙の記入事項に重大な過ちがあると大会委員会もしくはレフェリーが認めた場合。

１２、質 疑（ク レ ー ム）

試合中のクレームは『JTA ルールブック 2021』に則り裁決する。また、コート外での大会の実務に関することを学連に質疑応答する権利をもつ者のことを質疑担当者といい、コート内での法的な質疑応答は、ベンチコーチが行うものとする。尚、抗議の対象は大会本部のみであり、相手校及び相手選手に対しては抗議することができない。

・選手

選手は、審判にそのプレーに対する判定に質疑することはできる、ただし、レフェリー(コートレフェリー)に直接質疑することはできない。また、選手は自校の応援をコントロールする義務がある。

・ベンチコーチ

ベンチコーチは審判によるレフェリーへの要請なくしては質疑・抗議ともにできない。服装については問わないが必ずテニスシューズを着用するものとする。

・審判－SCU

審判はベンチコーチがレフェリーを要請した場合、ゲームの進行上、支障がなければコートチェンジの際にレフェリーとベンチコーチの質疑の対応ができるようにするこ

と。但し、ポイントの判定による場合、直ちにレフェリーを呼ぶこと。更に、怪我やコード・オブ・コンタクト、アクシデントが起こった場合は、レフェリーをコートに呼んでおくこと。

１３、雨天及び日没の際の処置

（1）試合の可、不可にかかわらず出場選手は各会場に試合開始２０分前までに参集する。
試合可能を決定し、オーダー交換時に出場選手のいない場合は棄権とみなす。またその際の処置はオーダー交換の場合と同様である。
尚、大会委員会が時間待ちにより試合可能と判断した場合は、改めて試合開始時間を決め直す。

（2）レフェリー又は両校代表者が、雨天及び日没により試合不可能と判断した場合、
その対戦の中止、中断、打ち切りをすることができる。中止、中断の場合はその
試合の再開の時刻及び会場はレフェリー又は両校代表者によって決定される。決定次第担当学連にその場で報告する。両校で意見が食い違った場合は最初の決定日時またはレフェリーが判断する。
※日没は新聞発表の時刻を原則とする。

１４、服　装

・服装はカラーウェアの着用を認めるものとする。男子はシャツにパンツ、女子はワンピース又はシャツ(T シャツは不可)にスコートあるいはショーツとする。但し、蛍光色のウェアなどで対戦相手からのクレームがあった場合着替えることで対応することがある。尚、ウォームアップスーツ等の着用は、ウォームアップ時に限定する。しかし異常寒波等により大会委員会が認めた場合はその限りではない。試合中の服装でチーム名を表す名称以外の製造業者の標準ロゴでテニスルールブックに記載されているサイズを超えるものは認めない。なお、大学でウェアを揃える必要はない。

・

１５、棄　権

自然的体力消耗(筋ケイレン)による試合中断は随時ポイントペナルティー制度を適用する。自然的体力消耗による処置はチェンジコートの間のみ可能。
尚、偶発的事故による怪我のために試合続行できなくなった場合は、
1 回の事故につき 1 回だけ 3 分以内の治療を認める。

※治療は本人、又はダブルスパートナーで行うのが原則であるが、本大会は大抵トレーナーが存在しないことを考慮し、ベンチコーチ・質疑応答者による処置を認めるものとする。治療時間をとりたい時はベンチコーチが主審にその旨を告げ、主審からコートレフェリーに連絡するものとする。

※治療時間は治療開始から 3 分以内とする。(処置を開始してから 3 分であり、診察は含まれない。)

１６、応　援

・応援は拍手と自チームへの声援を原則とする。即ち、応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くためのものであって相手校をやじるためのものでない。よって、相手校を侮辱する応援、ジェスチャー、器具などを用いての相手校、相手選手、審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げとなる行為をしてはならない。但し、歌、連呼はチェンジコート間でかつ両隣りのコートがプレーをしていない場合は行っても構わない。学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合にはレフェリー又は審判が客観的に判断し処分する。

※やじなどの不正な応援に対する処分　（応援者に対して）

1回目・・・警告

2回目・・・応援拍手のみ

3回目以降・・・注意のみ

尚、その行為が故意でないとしても同様である。

１７、審　判

・審判はSCUとする。規定は全て『JTAルールブック2021』に則るものとする。

その他、審判の判定に関して問題が起きた場合は大会本部がルールに従って判断する。

尚、審判の変更は原則として認めない。また人員不足の場合はセルフジャッジとする。

１８、ベ ン チ コ ー チ

・資格

ベンチコーチは1面1名、出場校のテニス部員で、中国四国学生テニス連盟に加盟している部員(改めての登録は不要)。それ以外の者は、大会を通じて1日につきのべ2名までベンチコーチとして随時大会本部にて登録することができる。

・入退場

ベンチコーチに関して、交代は1試合につき一回のみとする。但し、入退場に際してはコートレフェリーにその旨を伝える。必ず90秒のエンドチェンジ間、セットブレイク間に入退場すること。

※ベンチコーチは90秒のエンドチェンジ間、セットブレイク間以外に立ち上がったり、選手に触れたり、話しかけたりしてはならない。

それに違反した場合

1・2回目・・・警告

3回目・・・退場

尚、その行為が故意でないとしても同様である。

また、退場した場合その試合中の代理は認められない。

１９、ボ ー ル パ ー ソ ン

・ボールパーソンをつけるかどうか、或いはどのようにつけるかは両校代表者の話し合いで決めるものとする。ボールパーソンは両校の同意の上、良識の範囲内であれば１コート４名（各大学２名まで）つけることができるが、一切の応援を禁ずる。

※ボールパーソンは応援のみならず選手と会話してはならず、また触れてはならない。
ペナルティは当該選手に対しての応援の事項と同様とする。

２０、プレイヤーについて

・学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規制を厳守せず学生精神の向上並びに学生テニス界の発展、統一に支障をきたす選手は当該ポイント失格のうえ幹事会において処分する。

・学生スポーツ精神に反する態度（暴力など）をとった大学を全日本大学テニス王座決定試合に推薦しない場合がある。

２１、試　合　球

・使用ボールは公認ダンロップフォートテニスボール（イエロー）とする。ボールチェンジは、１部は９－11、2～4部はファイナルチェンジとし試合中のパンク・ロストについては、コートレフェリーが試合進行状況から判断し処置する。

２２、ポイントペナルティ制度

・本大会はポイントペナルティ制度を採用する。この制度は、スポーツマンシップの高揚と試合秩序の維持を図り、コートマナー及び競技諸注意規則を厳守させることにある。

(1)試合の遅延（ポイント間20秒）　及びコートチェンジの遅延（90秒）のとき。

（注）しつこい抗議、及びウォームアップの時間が経過したあとの遅延について、負傷による中断後の試合開始について、それぞれの試合を開始又は再開するよう指示を受けた後、さらに20秒以上遅延したときにも適応される。又、タイムバイオレーションについての測定は、アンパイア（レフェリー）が所有する時計による。

(2)スポーツマンシップに反する行為があったときには、ペナルティを科す。

１回目・・・警告
２回目・・・失点
３回目以降・・・失ゲーム（違反のたびに）

２３、ウ ォ ー ミ ン グ ア ッ プ

・試合におけるウォーミングアップは3分または5分以内とする。時間は大会や天候により異なり、大会委員会がそれを決定する。プレーが中断し、再開するときには次のウォームアップ時間が許される。

ウォームアップ時間	15分以下の中断	15分を超える中断	30分を超える中断
3分	なし	3分	3分
5分	なし	3分	5分

２４、ト イ レ ッ ト ブ レ ー ク

(男子)

１試合にシングルス１回、ダブルス１組１回、トイレットを理由に原則としてセットブレーク時に理にかなった時間で取ることができる。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は例外とする。

(女子)

１試合にシングルス・ダブルス（ペアで）ともに１回、トイレットブレーク又は着替えのいずれかの理由で、原則として理にかなった時間のトイレットブレークを取ることができる。(セットブレイク時が望ましい。着替えはセットブレイク時のみとする。)

(ベンチコーチ)

選手と同じ時にトイレットブレークをとることができる。この場合は選手と共にトイレットブレイクに行くことができる。しかし、トイレットブレーク中に観客等の第三者と話した場合はベンチコーチに戻ることができない。また、その後のベンチコーチの補充もできない。また、ベンチコーチ自らトイレットブレークを申し出ることはできない。

※１：ウォームアップ中も試合中と同様、回数に数える。

※２：トイレットブレークは、コートレフェリー(２部以下は相手校の主務)がついていく。

※３：トイレットブレーク終了後は余りのレストの時間は使用できない。(９０秒以上トイレットブレークにかかった場合)

２５、試 合 間 の 休 憩 時 間

・前に行った試合のセット数×15 分を次の試合までの休憩時間とする。但し、前の試合が途中で30分以上中断された場合には再開された後のセット数のみ計算に入れる。

２６、移 動 式 通 信 機 器

・電源をONにした状態でのコート内への携帯電話・PHS等の持ち込みは禁止。

もし試合中にそれらが鳴った場合、ポイントペナルティ制度に対象となる。

２７、その他

・大会委員は、大会必要事項に関して最終決定権を有する。
その他のルールについてはJTAルールに基づく。

・様々な場合の処置について

1)　オーダー用紙が相手校もしくは大会本部に渡らなかった場合

・相手校用　本部用2通とも渡らなかった場合 － 失格

・どちらか1通が渡らなかった場合 － 失格

2)　オーダー用紙が相手校用・大会本部用で異なる場合

・相手校がそのオーダーを選択し、試合を行う。

3)　オーダー用紙に間違いがあった場合

イ）　対戦校または日付の間違いがあった場合

・注意

ロ）　出場順位に間違いがあった場合

・1回目は警告及び出場順位の違う箇所を中国四国学生テニス連盟規約に基づいて適正な順位に直す。

・2回目以降は相手校がそのオーダーを決定し、試合を行う。

ハ）　同じ選手の名前を複数書いた場合

・出場順位に誤りが起こらない限りは、出場順位の低い方をdefとする。

ニ）　登録されていない選手があった場合

・その試合を没収する。

ホ）　部印がない場合

・注意

4)　オーダー交換時に選手が更衣（テニスウェアー着用、但しその上にウォームアップスーツ等の着用を認める）を済ませてなかった場合

・1回目警告、2回目以降そのプレイヤーは、サーブ／エンドの選択権及び第1ゲームを失う。

5)　試合前のウォーミングアップが終わった後に選手がコートを出た場合

・そのプレイヤーは失格

6)　オーダー用紙の間違いに関して

・1,2回目注意、3回目警告

7)　その他の場合は、当事校と本部が話し合って決定する。

＜男子の部＞

1　部　校					
	松大	岡大	広大	愛大	順位
松　大					
岡　大					
広　大					
愛　大					

3　部　校					
	平大	広文化	徳大	島大	順位
平　大					
広文化					
徳　大					
島　大					

2　部　校					
	山大	経大	香大	修大	順位
山　大					
経　大					
香　大					
修　大					

○4 部校

・別紙参照

＜女子の部＞

1　部　校					
	松大	愛大	岡大	山大	順位
愛　大					
松　大					
修　大					
岡　大					

2　部　校					
	修大	広大	島大	香大	順位
修　大					
広　大					
島　大					
香　大					

3　部　校					
	平成	安田	広文化	徳大	順位
平　成					
安　田					
広文化					
徳　大					

○4 部校

・別紙参照